



あなたとずっとつながっていく仲間

児童養護施設「樹心寮」児童指導員 山田大介

私は児童養護施設で仕事をして13年目になります

私が一年目の時に高校二年生の男の子の担当になりました。

とてもひどい虐待を受けて小学校低学年のときに入所した子で大人への不信がとても強かったので暴言暴力がひどかったのですがとても義理堅いところがあり不器用で真面目な男の子でした。

入所後しばらくして親は行方不明になりました。

入所中は大人を信用したい気持ちと過去の親から受けたひどい虐待体験との葛藤がものすごく苦しそうでした。

高校卒業時にホテルの調理の仕事についてなのですが三年継続した後にぱったりと生きる気力がなくなり、仕事をやめ、ホームレスの手前の状況になりました。

私に対しても当たりがきつくなり会話もとれなくなっていました。

しばらくは私も何もできませんでした。

その状況を救ってくれたのが高校の時の友人でした。

友人が家に居候させてくれたのです。

私は友人の方に挨拶に行きました。

何故なら、施設で不十分だった部分を補ってくださったと思ったからです。

それからしばらくしてまた生きる気力がわき、仕事を始めることができました。

今はゲーム関係の販売の仕事をしているため、私も施設の子どもたちのゲームのことがわからないと彼によく相談にのってもらいます。

年に数回ですが施設にも遊びに来てもらい子どもたちとも遊んでもらっています。

私たち施設職員は子どもが卒寮すると、またすぐに新しい子どもたちが入所してくる現状があります。

不十分な状況で卒寮させてしまい、その後に十分なアフターケアができず、何かトラブルになってからの対応となってしまう。

・・・本当に反省すべき状況です。

今回は **ROOKISE** という子どもたちにとっても私たち施設職員にとっても本当に希望の光が差し込んでくるお話をいただき本当に信じられないのが正直な気持ちです。

あなたのために今動いてくださる大人がいることをどうか忘れないでください。